



和と力

夏休み号



売布小ホームページ

令和7年(2025年) 7月18日

宝塚市立売布小学校

校長 藤山 昌生



ブルーインパルス ©大屋根リング;夢洲

本日1学期の終業式を迎えました。いよいよ明日から夏休みが始まります。今年も間違いなく暑い夏休みとなることでしょう。毎日、「暑〜い暑〜い」と言うだけでなく、今年は「🔥熱い🔥夏休みだった!」と言えるような、充実した時間を過ごしてほしいと心から願っています。

日々の生活の中で「なぜ?」とか「仕組みを知りたい」と思うことはありませんか? 例えば、「どうしてたくさん雨が降るのだろう?」や「冷凍庫はどうしてこんなに冷えるのだろう?」、「選挙ってどのように進んでいくの?」「万博で展示飛行したブルーインパルスってどのような訓練しているの?」…等々。こうした疑問を持つことは学びの第一歩であり、好奇心を育むきっかけとなります。単に疑問を持つだけで終わらず、その答えを自分で調べてみることで、さらに深く知ることができます。本を読んだり、タブレット(インターネット)で調べたり、家族に聞いたりするなど、疑問を解決する方法はいくつもあります。実際に見たい場所に行き経験したり、実験したりすることもできます。夏休みは1つのことを1か月間じっくり調べる時間も十分あります。そして、疑問を解決しようとする過程は、さらなる疑問を生み出し、知識としての広がりをもたらす、次のステップへ進む力にもつながります。ぜひ様々な疑問が解決されること、そのことを足あととして残し、2学期に披露し、友だちと共有してください。何かに時間をかけて没頭することで得られる充実感や幸せを感じることができる「🔥熱い🔥夏休み」を期待しています。それは、学びだけでなく体験やスポーツでも得ることができると思います。

今年は、戦後80年という節目の年を迎えています。80年前、日本は戦争を終え、平和への道を歩み始めました。それから長い年月が経ち、多くの人々のたゆまぬ努力により、私たちは平和な暮らしを送ることができています。しかし、現在でも世界の各地で戦争や紛争が起こっていることを考えても、平和は決して当たり前のものではありません。戦後80年という年月が経過した今、戦争の体験を直接聞く機会は減っていることは間違いありません。戦争の悲惨な歴史やそれを乗り越えた人々の努力を忘れることなく、その教訓を次の世代へと伝えていく役割を担うことが重要です。この夏を通じて、平和の尊さを学び、未来に向けた行動につなげてほしいと思います。

夏休み号の最後には、いつもこの写真を紹介しています。この写真は西宮市立大社中学校の校門のそばに立つ石碑で、「死ぬな ケガすな 病氣すな」という言葉が刻まれています。この言葉は子どもたちにとっても端的で分かりやすく、長い夏休みだからこそ、改めて子どもたちの心にとどめておいてほしい言葉です。終業式では、「自転車の乗り方」、「踏切事故の防止」、「SNSとの付き合い方」について話をしています。それ以外にも、家庭や地域で過ごす時間が増える夏休みには、気を付けてほしいことは、たくさんあります。

始業式の8月29日にみんな元気に登校してくることを楽しみにしています。

